

2024年6月吉日

千葉県で活躍する看護職の皆様

カンカンウサギ



## 「千葉市の看看連携を考える会」からのお知らせ

紫陽花が美しい季節になりました。「千葉市の看看連携を考える会」は千葉市の看護職同士の協働を推進する活動を行っている任意団体です。今年度も、事例検討会やワールドカフェなど様々な場で活動する看護師が出会い語る場を作っていきます。

### 今年度の活動予定

- 7月21日（日）第6回日本在宅医療連合学会大会（千葉市・幕張メッセ）にて交流集会を行います。（詳細は下記参照）
- 2025年1月（日程未定） 事例検討会を予定しています。

### 7月21日（日）第6回日本在宅医療連合学会大会での交流集会の概要

#### 交流集会とは？

学術集会において、研究者や実践者グループが、参加者との学術的な交流を目的に行うものです。グループは学会から割り振られた時間（大体1時間程度）と会場をうまく活用して交流を運営します。

#### 今回の交流集会のタイトル

#### 看看連携を考えるケース検討会

～地域包括支援センターが中心となって 在宅療養を支えた事例を手掛かりに～

日時：7月21日（日）9時40分～10時40分

場所：幕張メッセ 国際会議場2階 12会場

概要：地域包括支援センターの看護職が中心となった地域連携で、がん終末期患者と家族を支援し看取りを行ったケースを紹介します。この事例を手掛かりに看護職同士はどのようにつながっていくことができるのか、その可能性や具体的方法、さらに看護職同士がつながることの大切さを、全国からの参加者とともに話し合います。

座長：中野敦史・吉田千文、発表者：宮腰彩乃・佐藤富子、（交渉中）

参加方法：第6回日本在宅医療連合学会大会の参加登録を行ったうえで、当日直接会場にお越しください。⇒大会ホームページ（<https://confit.atlas.jp/guide/event/jahcm2024/top>）

この学会は在宅で活発に活動する医師や看護師が多いことから、他のアカデミックな学会とは異なる実践的でオープンな雰囲気があります。率直な意見交換ができ交流集会以外にも興味深いプログラムが沢山あります。地元で開催される在宅ケアの学会です。ぜひ足を運んでみてください。



大会HP QRコード

\*事前参加登録期間は7月19日17時まで。看護職の学会参加費（事前オンライン申込）は、学会員は6000円、非会員は7000円です。

千葉市の看看連携を考える会 代表 中野敦史（千葉市青葉病院）

事務局 千葉市青葉病院 地域連携室 〒260-0852 千葉県千葉市中央区青葉町1273-2

e-mail：[renkeiaoba@gmail.com](mailto:renkeiaoba@gmail.com)